

「学者村別荘地オーナー懇談会 2019」の記録

開催日時 2019年8月4日(日)午後2時30分～4時8分

参加者 オーナー 18名 町民(町議会議員)1名

長和町役場から 副町長 建設水道課・別荘係 企画財政課

懇談会に長和町より配布された資料

* 別荘係 「学者村オーナー懇談会資料」

Ⅰ 学者村別荘地のこれまでの取組み Ⅱ 学者村別荘地管理運営についての経過報告

* 企画財政課

「令和元年8月4日学者村別荘地オーナーの会オーナー懇談会説明資料」

資料1「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の現状と次期総合戦略に向けての取組について

資料2「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」概要

◎オーナーの会会長挨拶

◎長和町職員からの自己紹介

・副町長 ・建設水道課長 ・別荘担当専門幹 ・別荘係長
・企画財政課長 ・まち・ひと・しごと創生係係長 ・まち・ひと・しごと創生係

◎長和町副町長から説明(長和町からの配布の資料を参考に)

* 町長公約のマスタープラン

別荘を5000区画所有する町、どのように別荘の町を位置づけすれば喜んでいただけるのか等を、委員を選出し検討している。

* 別荘地の関係では<経営委員会>が設置されている。

早急に立木倒木・舗装の関係の対応が必要を念頭に行っている。別荘ライフに求められている事、住まわれている方に安定した経営を目的に設置された。(委員構成の説明あり)

現在まで4回開催 マスタープランは委員会と歩調を合わせる。

◎上野専門幹から資料に基づき説明

<意見交換>

○オーナーより 学者村には永住者とビジターの生活パターンがあり、考え方も違う。

そこでのトラブルが発生しかねない、苦情も出ている。この問題をどうするか、少々我慢しているが、役場は、その辺をどのように考えているのか。

○事務局より ゴミ、騒音の問題など、うまくいかない点もある。行政というよりは、オーナー同士の問題と思うがどうか。

○オーナーより オーナー同士の問題は、コミュニケーションの問題であると思う。

○オーナーより 人間関係だと思う。人と人とのつながりなので、お互いに気持ちよく過ごせるよう、お互いに歩み寄る必要がある。

○オーナーより 都会の生活をそのまま持ち込んでくる。都会では当然でも、ここでは当然ではないことがある。その辺の認識はコミュニケーション以前の問題である。車のスピードの出し過ぎや、ゴミの問題とか。

○オーナーより 問題のある点を情報として公開する。村内はスピードは出さない、挨拶するなど。

○副町長より 自身の経験から、畑の草刈りでも、周辺住民の子供の状況を考えながら行っている(早朝・昼寝時避ける)。別荘の決まりがあれば出していただくのも良い。

○事務局より 別荘ライフのご案内は、すでに配布されており、学者村祭りでも配布した。オーナーさんが見ていないのではないかな。

- 副町長より 時代が変わり、永住者もビジターもおられ、それぞれの主張もある、経営委員会でも住み分けというのか、最終的には人間関係、人となりに影響するが、情報を提供することにより、もしかして気が付いてくれる人がいれば、そういうことを「別荘たより」など、目に触れる機会を多くしなければならぬと考える。
- オーナーより 長和町にはいくつかの別荘地がある、そこには、かつての専門的知識を持った人がリタイヤしている、そういう人、町に貢献できる人がいるが、何故町はそういう人を委員なんかで使わないのかと、以前から思っている。外から新しい意見を入れるのは必須である。使わない手はない。
- オーナーより 私は逆にそっとしておいてほしい。
- オーナーより 私には命の洗濯場所であり、都会の生活は持ち込まないでいる。
- 企画財政課より 地方創生推進協議会を立ち上げているが、外からの目線は重要と考えている。今は産官学勤労、更にメディア・土業を入れている。外からの意見をいただいている。
- 企画財政課から資料に基づき説明
- オーナーより 学者村定住者 200 名以上いる、しかも高齢者ばかりだが、高齢者の対策が重要になってくる。そうすると将来が不安になってくる、福祉関係が見えない。立科町と長和町の差をよく聞くと、立科町は良く町づくりをやっている。長和町はもっと外部の人の意見を取り入れるべきだと思う。
- オーナーより 神奈川に住んでいるが 私の年齢では、この時期耐えられない。こちらは涼しくて、気持ち良い。快適です。
- 副町長より 軽井沢はジメジメしている、湿気が多い。ここは涼しい。
- 事務局より 以前より言っているが「こちらは涼しくて気持ち良い、快適」をもっとアピールしてほしい。
- オーナーより 定年になったら、こちらへ来てくださいと、宣伝すればよい。
- 副町長より 町の高齢化率は 40%を超えている、高齢者のみの世帯も増えてくると、日常の買い物もどうしたらよいか課題。交通機関の問題、町の道の駅に直売所を作り拠点とし、日用品・生鮮品を置くところを確保。そこを核として、買い物に来られるルートをしっかり作りたいと考えている。足の確保が重要だが長和町はコンパクトシティではなく広いので、経営効率が悪い、ライフラインも経費が必要。力を入れてやりたい理想はあるが、なかなかできていない。理想は、こまめに便を出して、買い物をしたり、温泉に入ったり、病院へ行ったりしてもらいたいが、コストがかかる。結果的に財政の問題になる。頭の痛いところですよ。その辺の意見をいただきたい。
- 事務局より 皆さんは、あえて山の上の不便な所を選んだのだが、それと住民になったから便利にするということとのギャップはどうなるのか、マスタープランとかね。
- 副町長より マスタープランはまだそこまでいっていない、町内各別荘地別に分けたプランを作りたいと思っているが、まだまだ発表するまでにはなっていない。

○事務局より こういう別荘地になってほしいという意見はありますか。

- オーナーより 佐久平から学者村迄来られる、公共交通機関がほしい。
- 副町長より JR に委託し、4町路線というが、古町から上田へ行く路線と町内循環バスの 2 本立てで作っている、今検討しているのは、全部契約バスという、行政のエリアを超えて行ける、乗り継ぎのいらぬものを検討している。どういう形が良いのか。
- 事務局より 皆さんにお聞きしたいが、食品の買い物はどちらへ行きますか。
- オーナーより (全オーナー)立科町に買い物に行く。
- 事務局より 我々の意識としては、立科町民の意識が強くなる。どうつなぎとめるのか。
- オーナーより 皆で言っているが、長和町にお金を落とす場所がない、落とす場所がほしい。
- 副町長より 道の駅の充実を考えて、そこを核として考えている。来年 5 月に仮オープンする予定だが、また意見がほしい。
- オーナーより 道の駅までのルート、冬は町に下りたくない。
- オーナーより ここの良いところの特徴は、水が美味しいところだが、悪いところは、赤松の林、高木の処理の問題、早めに処理しないと費用が掛かる。私はいろいろな所へ行くが、こんな高木があるとこは他にないです。早めに低い木と入れ替えた方がよい。

- 事務局より 前の景観を考える会でも、ずいぶん町に申し入れてきた、10年経てば、木は大きくなる。
- 上野専門幹 高木の件、松くい虫の件、町としても頭の痛い問題です。別荘地も森林税が活用できるようになった。まだ少額ではあるが、役場の方で優先順位をつけて伐採にとりかかりたい。他に中部電力と管理センターと連携して、電線が切れそうな場所を先に伐採できないか、プラス、伐った木をバイオマス発電に使えないかを、中電に模索している。中電側も、長野県を積極的に伐採している中で、学者村をモデル地区にして、やってもらえないかという働きかけをしている。何とかできないか、当方もシルバーさん5名いるが、技術ある方がいるので、連携して行って、そのままバイオマス発電にという絵が描けないか、昨年も3者で集まって話しあった。また見えてきたらアピールしていきます。
- 事務局より 景観の会で言ってきたが、別荘係・管理センター職員はここ3、4年で良く動いていただけようになりました、オーナーからの意見を取り入れてという姿勢でやっていただいていると思います。
- オーナーより 高齢者の対策として、ここは防災上の避難としては孤立している。災害があっても情報が届かない。テレビは有線が入っていないと伝わらない。スピーカーも聞こえない。災害時の情報伝達はどうなるのか心配。
- 上野専門幹 「別荘ライフのご案内」にもあるが、災害発生時の対応ということで、色々と災害時の情報伝達が記載してあります。山の上の別荘なので課題があることも承知している、今はスマホ等に情報伝達のアイテムが増えている。一昨年の台風で3期が被害を受けた時、情報伝達の難しさを痛感した。その反省に立って検討を進めている。災害については、まず自助です、自分の命を守る、情報収集のやり方を個人個人で検討していただきながら、管理センターも動くが、まずは自助の部分を、それぞれ日頃より検討いただき、備蓄の部分も検討していただきたい。町の防災計画では、長久保は町民センター、古町は町庁舎が基幹的な避難所になる。そこまで辿り着けない場合については、早めに避難をしていただきたい。また、山の家も、あるオーナーに預けてあります。ご案内にも記載してあるが、まずは、ご自身で検討していただきたい。不明な点があれば問い合わせ願いたい。私共もそれを参考に考えていきたいと思っている。
- オーナーより 自助と簡単に言わないでほしい。情報はいち早く取りたいので、何度も言うが、広報車が有効だと思う。
- 上野専門幹 3期の時は、スマホ等を持っていない方もおられたので、情報を3期の事務所に集約し、べたべたと貼り紙を掲示した(停電で電話不通なので)。安否確認も電話が繋がらないことがあり、災害メールの登録先には、第1・第2連絡先を付けました。登録よろしく願います。
- 翠川係長 学者村は雨雲がたまりやすい地区だと思ってください。また、電線に木がかかりやすく停電しやすい地域でもある。そんな時、夜であったら、役場に電話をお願いしたい。役場から連絡あれば別荘係～管理センター職員に連絡がとられ、停電箇所について管理人が見回り、中電と連絡を取ることになっています。2期は最近3回停電があった。躊躇なく役場に電話してください。
- オーナーより 以前、管理人さんに電球交換や大きな荷物を運んだりしてもらったが、今はできないのか。
- 事務局より 今はできないのではなく、以前よりできないことです。区画内はオーナーの責任です。
- 上野専門幹 新しい管理契約の中で、管理業務として行うことを明記してあります。明記されていないものは個々の負担でお願いしたい。今後は管理センターに表示させていただくが、必要によっては業者を紹介します。(ハチの巣除去や冬前の水抜き等)
- 企画財政課より 先ほど話が出たが、次の総合戦略に「筋肉を鍛える」という言葉が入るかどうかわからないが、そういう若い頃から筋肉を鍛えるという観点も持っていきたい。また、先ほどの町でお金を落とす所を作ってほしいは、ありがたいお話です。今日のお話で活かせると思えるところは、活かしてまいりたいです。
- 事務局より オーナー懇談会、来年もこの時期に行いたいと思います。是非皆さんご参加ください、ありがとうございました。

以上